

野菜苦手でも大丈夫!

川村学園女大と特別支援学校協力

オリジナルスイーツ開発

野菜嫌いでも手軽に栄養を摂取できるよう、川村学園女子大学(我孫子市)の学生が県立湖北特別支援学校(同市)と協力し、オリジナルの野菜入りスイーツ「米粉のスノーボールクッキー」を開発した。同支援学校で収穫されたかぼちゃを使い、グルテンフリーで小麦アレルギーにも対応。同支援学校の生徒が丁寧に焼き上げ、校内の売店で秋を中心に販売する。



「米粉のスノーボールクッキー」を開発した村上さん(我孫子市の川村学園女子大学)

開発したのは、今年3月に同大生活創造学部を卒業した村上理唯奈さん(22)。大学3年の夏、卒業課題として野菜を利用したスイーツ作りに取り掛かった村上さんは、同支援学校が栽培する濃厚な味わいの「バターナッツかぼちゃ」に着目。せっかくなら地域連携を「との思いから共同開発を提案した。生徒の意見をとり入れながら約1年にわたって試作を重ね、昨秋に完成した。

一口サイズのクッキーにはバターナッツかぼちゃのピューレがふんだんに練り込まれ、小麦の代わりに使った米粉がしっとり感をプラスしている。村上さんは「甘すぎず、かぼちゃの風味が口いっぱい広がる。カロテンが豊富で、野菜が苦手な子どもでも手軽に栄養が取れる」と自信をのぞかせる。

製造は同支援学校の生徒が担当しており、今年5月には新宿高島屋(東京都)で開催された企画販売展「大学は美味しい!!フェア」に出品。短時間で完売した上、リピーターも続出するなど大人気だったという。

カボチャの季節となる秋に再販売される。販売スケジュールなど問い合わせは同支援学校☎04(7188)0596。

一口サイズのクッキーにはバターナッツかぼちゃのピューレがふんだんに練り込まれ、小麦の代わりに使った米粉がしっとり感をプラスしている。村上さんは「甘すぎず、かぼちゃの風味が口いっぱい広がる。